

(別紙4)

公立病院改革プランの概要

団 体 名	愛知県 小牧市						
プ ラ ン の 名 称	小牧市民病院改革プラン						
策 定 日	平成 21年 3月 5日						
対 象 期 間	平成 21年度 ~ 平成 23年度						
病院の現状	病 院 名	小牧市民病院					
	所 在 地	愛知県小牧市常普請1丁目20番地					
	病 床 数	544床					
	診 療 科 目	内科 他 25科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		公立病院として果たすべき役割は、地域において提供されることが必要な医療のうち、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供し、健全経営と医療の質の確保に取り組むこと。					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		地方公営企業法に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、総務省が定める繰出基準に従い、地域において果たすべき役割、診療科目、病床数等を維持するために、最大限効率的な運営を行なってもなお不足する、真にやむを得ない部分の経費負担を基準としています。					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率(%)	98.8	98.1	98.7	100.1	100.7	
	職員給与費比率(%)	42.0	42.7	45.8	45.7	46.3	
	病床利用率(%)	99.8	97.7	97.8	98.0	98.1	
	医業収支比率(%)	98.3	97.6	96.4	97.5	98.6	
	患者1人1日当たりの収入額(入院)	49,366	51,680	52,000	52,000	52,000	単位:円
	患者1人1日当たりの収入額(外来)	12,101	12,213	12,300	12,300	12,300	単位:円
上記目標数値設定の考え方		平成22年度から経常収支比率100%以上を目標とする。 (経常収支比率の目標年度: 22年度)					

				団体名 (病院名)	小牧市(小牧市民病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
	救急外来患者数(人)	34,868	35,000	35,000	35,000	35,000	
	分娩件数(件)	775	770	770	770	770	
	小児科入院件数(人)	8,901	8,900	8,900	8,900	8,900	
	臨床研修医受入人数	26	24	26	26	26	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入					
		事業規模・形態の見直し					
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ●委託契約の見直し……契約方法の見直し、価格交渉による見直し等。(H21～) ●薬品費の削減……後発医薬品の採用拡大や、価格交渉による単価の見直し等。(H20～) ●診療材料費の削減……他院との比較やデータ調査など購入価格の見直し等。(H21～) ●その他の経費の削減……電子カルテに係る賃借料等、リースを継続することによる削減等。(H23～) 				
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ●病床利用率の向上と平均在院日数の短縮について……病床管理対策、DPCの活用等(H20～) ●外来患者数の確保について……医師の電子カルテ入力等負担軽減のため、メディカルアシスタントによる医師の補助を進める。(H21～) ●資金運用について……国債等の購入。(H21～) ●診療報酬請求について……医師、事務、委託職員を対象に講習会を開く。(H20～) ●未収金対策について……電話による催告や訪問徴収の実施など発生段階での取組みを進める。(H20～) 				
		その他					
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	99.80%	18年度	100.50%	19年度	99.80%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等						

団体名
(病院名)

小牧市(小牧市民病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	<ul style="list-style-type: none"> ●小牧市民病院 病床数544床 ●春日井市民病院 病床数556床 ●江南厚生病院 病床数678床 		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	愛知県が設置した公立病院等地域医療連携のための有識者会議の意見取りまとめによれば、当院が所在する尾張北部医療圏においては、当院、春日井市民病院、江南厚生病院で、緊急性の高い救急医療における365日24時間対応が可能な体制が確保されており、現状において救急医療については特段の問題のない地域と考えられるとされている。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容> 当院は、地域において中核の病院であり、必要な医療サービスを提供しており、再編、統合等の措置は必要がないと考えます。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	平成21年度中に評価委員会を設置する。		
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年10月頃		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	小牧市(小牧市民病院)
--------------	-------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	16,314	16,021	16,204	16,389	16,426	16,495
	(1) 料 金 収 入	15,617	15,307	15,476	15,636	15,673	15,742
	(2) そ の 他	697	714	728	753	753	753
	うち他会計負担金	92	91	94	114	114	114
	2. 医 業 外 収 益	705	816	834	1,124	1,113	995
	(1) 他会計負担金・補助金	400	559	576	914	896	778
	(2) 国(県)補助金	42	65	60	60	60	60
	(3) そ の 他	263	192	198	150	157	157
	経 常 収 益 (A)	17,019	16,837	17,038	17,513	17,539	17,490
	入	1. 医 業 費 用 b	16,190	16,293	16,610	17,005	16,853
(1) 職 員 給 与 費 c		6,505	6,725	6,919	7,502	7,503	7,631
(2) 材 料 費		5,451	5,108	4,930	4,810	4,790	4,780
(3) 経 費		2,990	3,211	3,420	3,400	3,380	3,180
(4) 減 価 償 却 費		1,171	1,156	1,251	1,201	1,088	1,044
(5) そ の 他		73	93	90	92	92	92
2. 医 業 外 費 用		858	740	755	735	661	634
(1) 支 払 利 息		292	272	255	235	211	184
(2) そ の 他		566	468	500	500	450	450
経 常 費 用 (B)		17,048	17,033	17,365	17,740	17,514	17,361
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-29	-196	-327	-227	25	129	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	32	49	51	51	51	51
	2. 特 別 損 失 (E)	86	110	120	128	127	127
	特別損益(D)-(E) (F)	-54	-61	-69	-77	-76	-76
純 損 益 (C)+(F)	-83	-257	-396	-304	-51	53	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	76	127	74	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	16,099	13,796	13,800	13,800	13,800	13,800
	流 動 負 債 (イ)	1,245	1,755	1,800	1,800	1,800	1,800
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
	差引 不良債務(オ) {(イ)-(エ)} -{(ア)-(ウ)}	-14,854	-12,041	-12,000	-12,000	-12,000	-12,000
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	-62	2,813	41	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	99.8	98.8	98.1	98.7	100.1	100.7	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	100.8	98.3	97.6	96.4	97.5	98.6	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	39.9	42.0	42.7	45.8	45.7	46.3	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病 床 利 用 率	100.5	99.8	97.7	97.8	98.0	98.1	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=(「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=(「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	小牧市(小牧市民病院)
--------------	-------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	0	470	150	100	0	0
	2. 他会計出資金	228	304	306	122	140	258
	3. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	144	0	0	0	0
	7. その他	2	3	0	2,940	0	3,500
	収入計(a)	230	921	456	3,162	140	3,758
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分(c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c)(A)	230	921	456	3,162	140	3,758	
支 出	1. 建設改良費	664	1,344	876	818	800	800
	2. 企業債償還金	452	472	475	578	597	647
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	13	2,962	31	5,030	30	3,530
	支出計(B)	1,129	4,778	1,382	6,426	1,427	4,977
差引不足額(B)-(A)(C)	899	3,857	926	3,264	1,287	1,219	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	674	3,687	754	2,805	827	827
	2. 利益剰余金処分額	223	168	169	456	457	389
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	2	2	3	3	3	3
計(D)	899	3,857	926	3,264	1,287	1,219	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	() 491,990	() 649,579	() 669,766	() 1,027,786	() 1,009,615	() 891,838
資本的収支	() 228,580	() 304,125	() 306,314	() 122,214	() 140,385	() 258,162
合計	() 720,570	() 953,704	() 976,080	() 1,150,000	() 1,150,000	() 1,150,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。